

北方西小学校6年生保護者説明会

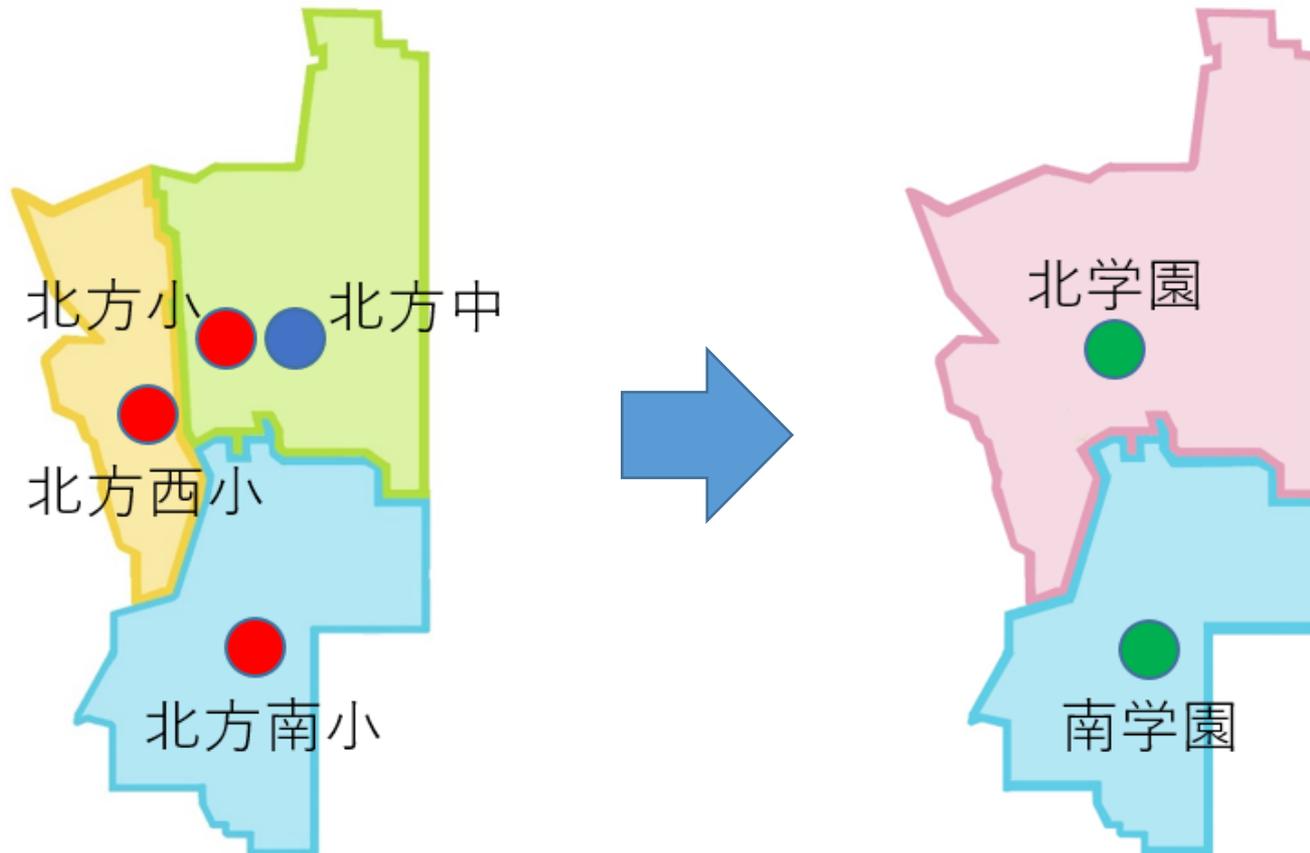
北方学園開園に向けて

令和3年6月9日（水）

北方町教育委員会

学園の仕組み

令和5年4月 小中一貫の義務教育学校2校に再編



再編理由

1 校舎の老朽化、少子化

建設時：2,438人→現在：1,569人

2 学校の教育力向上

小中一貫教育の推進

[小中一貫教育のよさ]

- ・幅広い異学年交流による豊かな心の育成
- ・教科担任制（段階的）による質の高い授業
- ・児童生徒理解の深まりによるいじめ、不登校等の減少
- ・9年間一貫教育課程によるわかりやすい授業、中一ギャップの解消
- ・一貫した支援組織による地域との連携強化

小中一貫教育

◇教育的効果を期待し、近隣や全国的にも「小中一貫」の動きが進んでいる

RI.7.26 岐阜新聞

RI.12.4 岐阜新聞

来年度、小中一貫に移行

岐阜市教育長「多様な交流期待」

厚見小・中と藍川小・北中

岐阜市議会の定例会は3日、本会議を再開し、代表・一般質問を行った。早川三根夫教育長が今後の小中学校の在り方に触れ、「来年度、厚見小・中学校と藍川小・藍川北中学校を（教職員が小中学校の授業を兼務する）小中一貫校に移行する」と明らかにした。

（龜山大樹、武藤直子）

校への拡大にも言及し、「施設分離型小中一貫校など多様な展開が考えられる。施設一体型が望ましいことから、今後の校舎建て替え計画と合わせて検討する」と述べた。

また、今議会に提出された犯罪被害者等支援条例案

岐阜大付属、小中一貫に

来年度 国立大付属で東海初

岐阜大は24日、2020年4月に同大付属小学・中学校を小中一貫の9年制の

義務教育学校へ移行させる」と発表した。大学と付属校との連携を強め、カリキュ

ラム作りや学校運営面で教育学部の専門的な知見を取り入れる。

施設の整備

北方町立南学園

令和5年4月開校

運動場、駐車場造成

トイレ洋式化改修

出口造成・部室建築

遊具新設

安全柵設置

多目的室増設

特別教室棟
新築

職員室、保健室改修

ネット環境整備

学童新築

学習園整備

基本理念

だれもが安心して学び合う中
「たくましい北方の子」を育成する

学園の特色

- 豊かな異学年活動
- 小中連携した学習や生徒指導
- 地域との連携強化
- 指導体制の充実
- 各学年に応じた教科担任制
- ICT教育の充実
- 外国語教育の推進
- 北方科の創設

施設の特徴

- 特別教室棟新築
- 管理スペース改築
(職員室一体)
- 東側運動場の拡充
- トイレの洋式・乾式化
(自動水栓)
- 多目的室新設
- 図書館の拡張・整備
- ネット環境整備
- 学童棟新設

1階



2階



3階



教育方針

一貫校のよさを生かした

「だれもが安心して学び合える学園」

4つの特色ある教育

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	8年生	9年生
① 小中一貫カリキュラム	基礎基本を確実に身に着ける				思考力・表現力を伸ばす			個性を伸ばす	
② ICT教育	アプリに慣れる		調べ学習に活用する		プログラミング的思考を伸ばす			問題解決に生かす	
③ 英語教育	英語を楽しむ		英語で伝える		英語で会話する		聞く,読む,書く,話す力を伸ばす		
④ 北方科	町の自然や人と遊ぶ		町のよさを学ぶ		町の歴史や現状を理解する			町の将来を考える	

教育方針

町の学校教育は一つ

北方学園

北学園



南学園

「たくましい北方の子」の育成



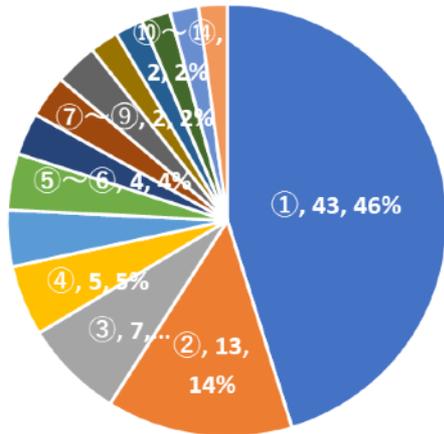
校名

2校の校名をそれぞれ、
「北方町立北学園」 「北方町立南学園」とする。

[根拠]

① アンケート結果から

校名アンケート



② 準備委員会における検討から

- 両校の子どもたちが、北方町の子どもとして「対等性」を感じられる校名にしたい。
- 人それぞれの思いや好み等により意見が分かれるものであるため、アンケート結果を重視したい。
- 多くの人に、学校のある場所などがわかりやすいものでありたい。
- 日頃、子どもや町の人たちが呼びやすい名前がよい。

番号	学校名	票数	番号	学校名	票数
①	北方町立北学園 北方町立南学園	43	⑧	北方町立北方中清流学園 北方町立北方南清流学園	3
②	北方町立北方学園 北方町立北方南学園	13	⑨	北方町立北方小中学校 北方町立北方南小中学校	3
③	北方町立くすのき学園 北方町立かわせみ学園	7	⑩	北方町立北方北学園 北方町立北方南学園	2
④	北方町立みらい学園 北方町立きずな学園	5	⑪	北方町立北小中学校 北方町立南小中学校	2
⑤	北方町立スイセン学園 北方町立くすのき学園	4	⑫	北方町立きずな学園 北方町立みらい学園	2
⑥	北方町立かわせみ学園 北方町立スイセン学園	4	⑬	北方町立北方清流北学園 北方町立北方清流南学園	2
⑦	北方町立北方学園 北方町立清流学園	3	⑭	北方町立カワセミ学園 北方町立みらい学園	2

(集計について)

- ・ 2票以上あった校名
- ・ 全体168票
- ・ 児童生徒、一般を合わせた集計
- ・ 約95%は児童生徒の票

校章

北学園と南学園の校章をそれぞれ下記の校章とする。

校章



北学園



南学園

No.	1	2	3	4	5
校章候補					
票	290票	565票	83票	89票	109票
%	26%	50%	7%	8%	10%

[根拠]

- ・小中学生や保護者にとってアンケート結果で得票数が最も多かった。
- ・色は、北方町のカラー緑を基調とし、もちの木を取り入れた。
- ・KITAGATA MUNICIPAL SCHOOLは、北方町立の学校という意味を表している。
- ・校章案として、町内外から21作品の応募があり、専門部会で右上に示す5案に絞り、児童生徒、全保護者家庭にアンケートを取った。

制服

ブレザー型とし、ネクタイとリボン、スカートとスラックスのどちらでも可とする。

スカート型



スラックス型



ネクタイの柄



男女とも、スカート、スラックス、ネクタイ、リボンの、どの組み合わせも可とする。

[根拠]

- ・ 8割の児童生徒がブレザー型がよいと答えている
- ・ 一般も含めたアンケートで、54%がカッターとネクタイかリボンがよいと答えている。
- ・ ネクタイ、リボンについては、アンケートで上の写真の柄が最も多くの支持を得ている

【着用時期等】

- ◇ 7年生から制服を着用する
- ◇ 令和5年度の新入生から新しい制服を適用する
- ◇ 夏服はポロシャツとする

校 区

選択区は設けず、現北方小校区と北方西小校区は北学園、現南小校区は南学園とする。但し、個別の事情に対しては、規則に基づき指定校の変更を可とする。

現北方小校区と
北方西小校区



現北方南小校区

[根 拠]

- ・「地域との連携」は学園の重要な基本方針の1つである。
- ・特に、小中一貫校の義務教育学校となることで、学校運営協議会やPTAなどの組織が9年間一貫していることで、より連携を深めることができる。

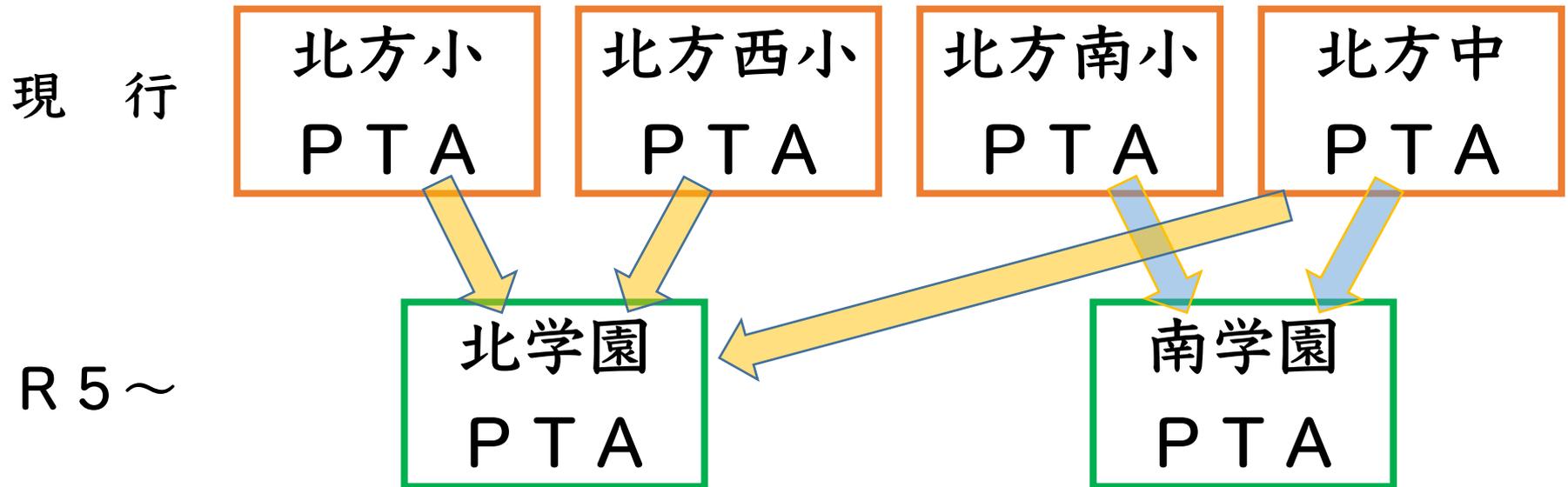
地域との連携を強化し、より教育力を高める

[だれもが安心して学び合える視点から]

- ・「いじめに関わる友達関係」「不登校」「家庭の事情」など、個別の事情に対しては、規則に基づき、もう一方の学園に転校、入学できるようにする。

P T A ・ 学校運営協議会

それぞれ、学校毎に1つの組織とする。



- ・ 学校運営協議会も P T A と同様に 2 つの組織とする。
- ・ 役員選出ルール等については、これまでのきまりをできるだけ引き継げるよう検討する。
- ・ 現行のそれぞれの財産（貯金等）については、現行の組織間で協議する。

部活動

- ・開校時は、両校に令和4年度の部活動を設ける。
(野球、陸上、バレー、バスケ、剣道、サッカー、卓球、ソフト(女子)、テニス(女子)、美術、家庭科、パソコン、英会話、合唱)
- ・令和5年度の夏の中体連は、合同チームを基本とする。
- ・その後、「チームが組めれば単独校」「チームが組めなければ合同チーム」を基本とする。

[今後のプロセス]

- R3.4～「教育活動としての部活動」「社会活動としてのクラブ活動」の趣旨について理解を広める。
スポーツ少年団、部活動、ジュニアクラブ、社会人スポーツの連携を強化し、活動継続可能な体制を整備する。
- R3.9 小学校6年生に対し、部活動の見通しについて説明する。
- R3.10～両校の部活動実施に向けた環境整備を進める。(含：指導者確保)

[その他]

- ・小学校5年生から部活動に参加可能とする。
- ・部活動を通じた両校の交流を推進する。

部活動

「スポーツ少年団」「部活動」「ジュニア（保護者）クラブ」を一体化して、「北方学園クラブ」とし、効果的に子どもの指導を行う組織への統合を目指す。

【現 状】



スポーツ少年団
(認定指導員等)

部活動
(教員・部活動指導員等)

ジュニアクラブ
(社会人コーチ・保護者等)



【R5～】

北方学園クラブ

(社会人コーチ・保護者等)
認定指導者・教員等

可能な種目から順次設立する

【理由】

- ・ 土日、祝日などに、南学園と北学園の子どもがいっしょに活動できるようにする。
- ・ 小中の教員、社会人コーチ、指導員、保護者がより連携し効率的に指導に当たれるようにする。
- ・ 1年生～9年生まで、一貫性や連続性のある指導を行えるようにする。(5年生から部活動参加)

【スポーツ少年団の現状】

	1~4年生	5~6年生	町外
野球	18	22	0
バスケ男子	3	5	14
バスケ女子	5	8	5
サッカー	6	5	0
バレー男子	1	4	0
バレー女子	4	7	1
剣道	7	12	0
空手	1	7	6
計	45	70	26

【部活動の現状 [運動系]】

	北	南	計
野球	10	11	21
バスケ男子	7	4	11
バスケ女子	14	6	20
サッカー	20	9	29
バレー男子	9	11	20
バレー女子	9	4	13
剣道	16	2	18
ソフトボール	8	7	15
テニス	11	7	18
陸上	68	20	88
卓球	39	21	60
計	211	102	313

【部活動の現状 [文化系]】

	北	南	計
合唱	10	3	13
英会話	6	1	7
コンピュータ	31	35	66
家庭科	13	7	20
美術	26	19	45
計	86	65	151

時間割

「始業」と「1,3,5時限」等の始まりを揃える。
課程を跨いでも授業ができる下記の日課を基本とする。

[基本とする日課]

前期課程 (1~6年生)		後期課程 (7~9年生)
8:20 ~ 8:30	朝の会	8:20 ~ 8:30
8:40 ~ 9:25	1時間目	8:40 ~ 9:30
9:35 ~ 10:20	2時間目	9:40 ~ 10:30
10:20 ~ 10:40	中休み	10:30 ~ 10:40
10:40 ~ 11:25	3時間目	10:40 ~ 11:30
11:35 ~ 12:20	4時間目	11:40 ~ 12:30
12:20 ~ 13:00	給食	12:30 ~ 13:05
13:00 ~ 13:25	昼休み	13:05 ~ 13:25
13:30 ~ 13:45	掃除	13:30 ~ 13:45
13:55 ~ 14:40	5時間目	13:55 ~ 14:45
14:50 ~ 15:35	6時間目	14:55 ~ 15:45
15:40 ~ 15:55	帰りの会	15:50 ~ 16:05

朝の始まりや中休みの後などは、時間をそろえ、チャイムを鳴らす

後期課程の授業後、前期課程の次の授業の始まりに教員が間に合うようにする

□ 実情に合わせて検討する点

- 「1~4年生」「5~9年生」で区切り、順次45分授業から50分授業になだらかに移行する。
- 中休みをそろえ、1~9年生がいっしょに遊ぶなどの活動ができるようにする。
- チャイムの鳴らし方を工夫する。
 - ・ノーチャイムで時計を見て行動する。
 - ・タブレット等を活用し、各階や各教室で鳴らし方を変える。
- すべて50分授業にそろえ、授業の終わりを調整する。

指導体制

4年-3年-2年の指導体制とする。

[設定理由等]

◇ 1年生～4年生

学級担任とともに学習や生活の基礎・基本を徹底する。

◇ 5年生～7年生

徐々に教科担任制を取り入れ、思考力や表現力を育てる。

◇ 8年生～9年生

全校体制で、一人ひとりの進路に向けた夢をかなえる。

- 中学校部分が2校体制で、教職員が増え、進路指導体制が充実する。
- それぞれの区切りに式を設けるとともに、6年生には前期課程修了式を設ける。
- 区切りが増えることにより、リーダーとして活躍する場が充実する。

行事

一貫制と6-3制のよさを取り入れ、子どもが目標をもって主体的に取り組めるように計画する。

□ 修学旅行

6年生での「京都・奈良への旅行」、9年生での「平和学習」については、学習内容等との関係から継続して実施する。

□ 運動会、体育祭

基本的には、1年生から9年生までいっしょに行うが、開会式と閉会式、全校種目をいっしょに行うなど、方法については工夫する。

□ 入学式、卒業式

入学式は1年生、卒業式は9年生で行うが、6年生で前期課程修了式を設けるなど、節々で新たな目標がもてるようにする。

□ 校外学習等

修学旅行以外の自然の家での体験、社会見学などの校外学習行事は、基本的にこれまで通り実施する。

□ 閉校式、開校式

4校1園とも閉校(園)式を行い、2校1園とも開校(園)式を行う。

町立進学塾の設立

北方中学校から北学園と南学園に別れることとなる、令和5年度の8,9年生の進学や友達関係などへの不安を解消し、自信をもって進学できるようにするために塾を設立する。

【開設方法】

○内容

- ・国語、社会、数学、理科、英語の試験問題が解けるようにする。
- ・進路相談や生活相談に応じる。

○講師

- ・町費の講師（教員経験者、大学生等）

○開設期間と対象生徒

- ・令和5年度～6年度（2年間）
 - 令和5年度（8,9年生対象）
 - 令和6年度（9年生対象）
- ※北学園、南学園共に対象

○開設日時と場所

- ・毎週土曜日 9:30～11:30
- ・実施回数 1回2時間×40週
- ・教室数 6教室×2講師×2学年
（令和6年度は1学年）
- ・北学園と南学園の教室

○受講料

- ・無料 自由参加

○昼食

- ・昼食を用意する。
（談笑したり、午後の部活につなげたりする。）



北方科

ふるさとへの郷土愛と教科の学びを深める小中一貫の特設教科「北方科」を設ける。

[基本方針]

- ・各教科の学習や総合的な学習の時間との関連を図りながら、各年間15時間を設定する。
- ・1～2年生は「町の自然や人と触れる」、3～4年生は「町のよさを学ぶ」、5～7年生は「町の現状や歴史を理解する」、8～9年生は「町の将来を考える」をテーマとする。

[内 容 例]

- 1年生：「北方のかおりを歌おう」「昔の遊び」「地域の方への感謝会」
- 2年生：「写真で町紹介」「町を道案内」「詩で表す北方町」
- 3年生：「町のお店屋さんの仕事」「北方町の昔話」
- 4年生：「糸貫川調査」「北方町の祭り」「郷土の偉人」
- 5年生：「町の人口密度」「英語で町案内」「町のデータをグラフに」
- 6年生：「北方町の史跡」「戦時中の北方の人々」「歴史を英語で紹介」
- 7年生：「過去の災害と防災倉庫」「町の安全を守る提案」
- 8年生：「町内での職場体験」「町の産業活性化のための提案」
- 9年生：「北方町の行政」「町の将来をプレゼンテーション」

[ゲスト teacher例]

- 長生会
- ゆうすいの会
- 商工会
- 文化財保護協会
- 役場職員
- 議会
- 文化財保護協会
- 消防、役場職員
- 町長、役場職員